

## 診断群分類研究支援機構『研究用 DPC データ収集代行業務』について

当センターでは、より質の高い医療・公衆衛生の向上のため、私達が行っている医療の内容を客観的に評価しながら、さらに改善させてゆくことが大事だと考えております。

そこで、当センターでは研究機関と協力して、お受けになった入院および外来診療に関するデータを完全に匿名化した状態で収集して客観的に分析し、医療や施設運営の質を一層向上させることをめざして下記の研究事業にデータを提供しています。

### 研究参加と既存情報の提供についての公開情報

- ① 試料・情報の利用目的及び利用方法、他の機関へ提供方法：  
匿名化された診療報酬データ（DPC データ）を秘密鍵方式で暗号化し、暗号化通信による電子的送付あるいは追跡可能な宅配等により、診断群分類研究支援機構へ提供します。
- ② 利用し、又は提供する試料・情報の項目：  
厚生労働省により規定され作成された DPC データ（年齢・性別、病名、手術・処置・薬剤等の種類、外来受診回数、入院期間、医療費など）。
- ③ 利用する者の範囲：  
別表に示す研究の関係者。  
研究実施体制は各研究責任者によるホームページをご参照ください。
- ④ 提供する試料・情報の管理の担当者（責任者）：  
大阪急性期・総合医療センター 医療情報部 診療情報管理室

本件にご質問・ご意見がございます場合には、ご遠慮なくお問い合わせください。

別表：診断群分類研究支援機構がデータを提供する研究（平成 30 年度）

承諾 年度	提供先	承諾 期間
2016	国立がん研究センター研究開発費「患者視点から見たがん診療のコストとアクセシビリティに関する研究(28-A-27)」(平成 28-30 年度) 研究代表者：石川ベンジャミン光一	～2019 年 3 月 分
2016	科学研究費助成事業採択課題（基盤研究(A)）「超高齢社会の医療介護における地域格差の構造と資源制約下の持続可能なシステム最適化」(平成 28-30 年度) 研究代表者：今中雄一	～2019 年 3 月 分
2017	科学研究費助成事業基盤研究(B)「日々の患者状態データを用いた医療・ケアの質評価と看護業務マネジメント手法の開発」(平成 29-31 年度) 研究代表者：林田賢史	～2020 年 3 月 分
2017	厚生労働科学研究費補助金「大規模医療データを利用した医療 ICT 化の効果検証に関する研究(H29-医療-一般-008)」(平成 29-30 年度) 研究代表者：石川ベンジャミン光一	～2019 年 3 月 分
2017	厚生労働科学研究費補助金臨床研究等 ICT 基盤構築・人工知能実装研究事業「保健医療介護現場の課題に即したビッグデータ解析を実践するための臨床疫学・統計・医療情報技術を磨く高度人材育成プログラムの開発と検証に関する研究」(平成 29-30 年度) 研究代表者：康永秀生	～2019 年 3 月 分
2018	厚生労働行政推進調査事業「診断群分類を用いた急性期等の入院医療の評価とデータベース利活用に関する研究(H30-政策-指定-004)」(平成 30-31 年度指定研究) 研究代表者：伏見清秀	～2020 年 3 月 分
2018	厚生労働行政推進調査事業「医療の変化や医師の働き方等の変化を踏まえた需給に関する研究(H30-医療-指定-010)」(平成 30-32 年度) 研究代表者：伏見清秀	～2021 年 3 月 分
2018	厚生労働科学研究費補助金「ミトコンドリア病の調査研究(H29-難治等(難)一般-035)」(平成 29-31 年度) 研究代表者：後藤雄一	～2020 年 3 月 分